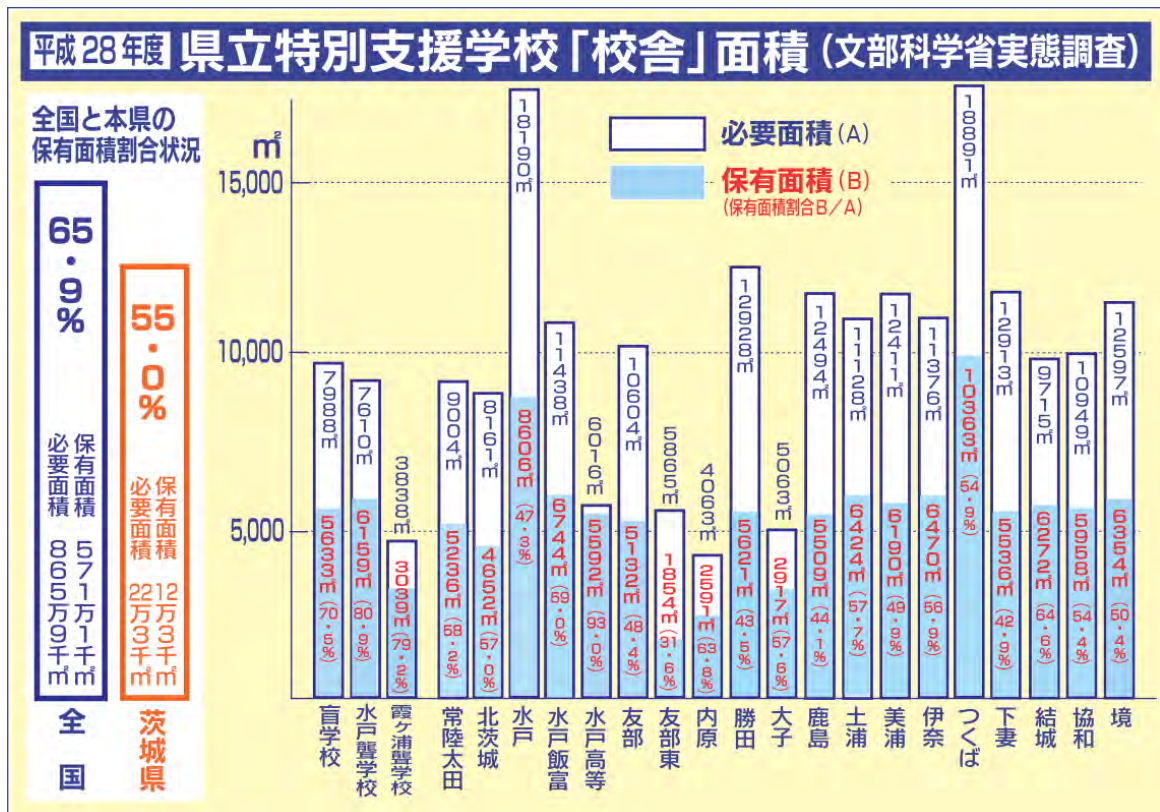


# こんにちは 山中たい子です

残土条例の問題を知事にたずねる山中議員 (9月27日)



## 特別支援学校の増設を繰り返し要求



## 日本共産党

税金の使い方が大きく問われた9月県議会会でした。日本共産党は、上野たかし議員が一般質問で、八ッ場ダム工事を当初の2.5倍に増額することに同意する県政を批判。予算特別委員会では、山中たい子議員が障がいをもつ子どもたちの特別支援教育予算が全国46位という実態を示し、改善を要求しました。

## 予算特別委で質問



山中議員は9月27日の予算特別委員会で質問に立ち、特別支援教育の充実をくり返し求めました。「障がいをもつ子どもたちの教育環境をより良いものに」と、県内各地につくられた特別支援学校ですが、教室不足が深刻です。山中議員は、茨城県の学校校舎の面積が必要面積に対して55.0%しか確保されていない実態をパネルにして提示(上図)。全国平均は65.9%です。つくば特別支援学校の必要面積は18,891m<sup>2</sup>ですが、実際は10,363m<sup>2</sup>しかありません。山中議員は「教室不足の解消にどう取り組むのか」と質問。小野寺教育長は「敷地に余裕がないため、増築が困難な学校が多い。そのため、境町と常陸太田市に学校を新設したが、今後も石岡特別支援学校を新設するとともに、美

浦と伊奈で増築を進めていく」と答えました。これに対し、山中議員は「石岡に新設しても、つくば特別支援は過密解消されない。つくばの増設が必要だ」と重ねて要求しました。

**特別支援教育予算 全国最低クラス**

さらに、山中議員は、本県の1人あたりの特別支援教育予算が全国46位であることを明らかにしました。全国平均との差は140万円にもなります。知事は「教育費の順位が低いことは事実」とし、「今後も、校舎の新設や増築のほか、スクールのバスの増車、臨床心理士の派遣、教員採用を増やすなど努力していきたい」と答えました。

このほか、山中議員は県土砂等の埋立条例の改定を提案。県外からの残土埋立によって周辺環境に悪影響を及ぼしている県南地域の実態を示し、埋立て許可面積の引き下げなど規制強化を求めました。

また、国民健康保険税の値下げを求めるとともに、未納者への厳しい差押えをやめるよう主張しました。

**やまなか日記** 豊洲新市場 や富山の政務 活動費、閣僚の白紙領収書

も、日本共産党が行政の不正と議会をチエックする監視役を大いに果たして注目されています。▼つくばでは、昨年の住民投票運動に勝利した結果、市政転換の大きなチャンスを迎えています。市民と市議会野党の力を合わせた共同の運動が、これまでにない新しい状況をつくり出しました。

▼日本共産党つくば市議団は、いち早く運動公園計画を知らせ、独自に署名運動を展開。共同を広げて市民運動をともにすすめました。市民が動かす新しい市政へ、市民とともに市政を変える、確かな力です。▼新潟県では、知事選で市民と野党の統一候補が勝利し、大きな希望を示しました。

▼原発再稼働やめよ☆安保法制／☆憲法改悪反対☆悪政とキツパリ対決し、国や県にハッキリものいう日本共産党が伸びてこそ、暮らしも平和も守ることができます。さらに力を合わせましょう。(山中)